

KNORCA排煙脱硝装置

- ・アンモニア接触還元法(乾式法)

特 徴

- (1) 任意の安定した脱硝率が得られ、長期安定運転が可能です。
- (2) 構造がシンプルなので、運転操作管理が非常に容易です。
- (3) 石炭、オイルコークス、C重油焚燃焼排ガスといった高い煤煙濃度、及び、SO_x濃度に対しても触媒層の閉塞やSO_xによる被毒が少なく長期安定運転が可能です。
- (4) 乾式法なので、湿式法のように排水処理の必要がありません。



概 要 (技術原理、動作等)

従来(固定触媒)方式では煤塵等による触媒層の閉塞と触媒活性面での難点がありました。これらを解決し、開発されたのがKNORCA排煙脱硝装置で、ユーザーの高い評価を得ています。実績豊富なこの装置は固定発生源から排出されるNO_xを無害な窒素と水に分解する乾式アンモニア接触還元法の脱硝装置で、反応塔とアンモニア貯蔵(尿素水貯槽)・供給装置等で構成されています。

反応塔内には高性能なKNORCAハニカム触媒が充填されており、任意の安定した脱硝率を得ることができます。

触媒は、出し入れが容易なカートリッジタイプを採用しています。

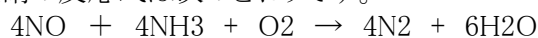
ダストスルーに適した構造の固定触媒層のため、ダーティーガスに対しても、煤塵の堆積等による触媒層の閉塞が少なく、長期安定運転が可能です。

【原理】

還元剤としてはアンモニア(液化アンモニア、液体アンモニア)または尿素のいずれかを用います。
注) 商品名KNORCA(ノルカ)は、

KURABO **N**itrogen **O**xides **R**educing **C**atalystの略。

脱硝の反応式は次のとおりです。



導入実績

納入先	場所	納入年月	型番・基数	最大処理ガス量 (Nm ³ /h)	備考
倉敷紡績㈱枚方工場	大阪	'73.1 2	KN-0502	5,000	脱硝テストプラント
U社	千葉	'81.0 5	KNF-700	70,000	石灰焼成炉
M化学㈱	愛知	'86.07	KNF-1070	110,000	ボイラ、オイルコークス
O社	大阪	'88.1 0	KNF-400	42,488	ガスタービン
T社	千葉	'89.0 3	KNF-820	45,000	ディーゼルエンジン
M化学㈱	大阪	'89.1 0	KNF-1000	100,000	ボイラ、アスファルト
M社	大阪	'90.0 3	KNF-74	6,600	ガラス溶解炉
T社	岡山	'91.0 3	KNF-570	57,000	ボイラ、石炭
K市	大阪	'95.0 3	KNF-980	97,650	都市ごみ焼却炉
H社	新潟	'97.0 9	KNF-1200	119,000	ボイラ、C重油
N研究所	茨城	'02.0 3	KNF-6	568	金属熔融設備
N社	北海道	'03.10	KNF-2700	270,000	2015年4月現在70件。
I組合	新潟	'04.1 1	KNF-250x2	20,800	炭化炉
S社	兵庫	'06.0 6	KNF-250	21,948	弗硝酸槽排ガス
X社	大阪	'05.1	KNF-1600	158,000	ガスタービン
K社	茨城	'08.0 8	KNF-70	6,528	廃熱ボイラ、副生油

倉敷紡績株式会社
エンジニアリング部

<http://www.kurabo.co.jp/>
E-mail pr_grp@kurabo.co.jp
所在地: 〒 572-0823

大阪府寝屋川市下木田町14-41
TEL: 072-820-7511 FAX: 072-820-7515